



小笠原村立小笠原中学校

学校だより

令和元年10月3日 第6号

小笠原村立小笠原中学校

校長 小野満 賢

学校ホームページ

<http://www.ogachu.que.ne.jp/>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



読書は好きだけど・・・

校長 小野満 賢

小学生の頃の私は、学校から帰ると玄関先にランドセルを放り投げ、友だちと毎日のように裏山や川辺、神社や公園に出掛けて日が暮れるまで遊んでいました。ゲームもスマホもパソコンも何も無い時代でしたが、季節に応じて遊びの種類はいくつもあって、年がら年中、飽きることがありませんでした。北国でしたから夏は短く冬が長かったのですが、凍えるような寒い日でも、帰る頃にはびしょりと汗をかき、上気した顔で「明日も遊ぼうね」と声を掛け合い解散するのです。翌日の学校、というより遊びに行くのに困らないために、石油ストーブの前に新聞紙を敷き、雪で濡れた手袋や靴を並べて乾かしていたことが懐かしく思い出されます。

確か5年生の誕生日だったと思います。あまりに外遊びに夢中だった私を見かねて、母が私に買い与えたのは、某出版社の「少年文庫100冊」でした。今思えば母は相当無理をして買ったに違いありません。その親心を知る由もない私は、欲しくて期待していたものではないことに、がっくりと肩を落としたのです。

しかし数日がたったある日、とりあえず本棚に並べた100冊の文庫本の、最上段の右端の本を手にとってみました。それは忘れもしませんが、ローラ・インガルス・ワイルダーの「長い冬」という本でした。後に分かりましたが、彼女はNHKでテレビシリーズ化された「大草原の小さな家」の原作者です。読み始めた途端、私は一気に本の世界に引き込まれてしまいました。

一冊、また一冊と読み進めていくうちに、次の本が読みたくなり、夢中になった私は100冊をあっという間に読んでしまいました。もちろん友だちと遊ばなくなったわけではありませんが、本を読むことも楽しみの一つになりました。今でこそ、本を読む時間はなかなか取れずにいますが、本の魅力に触れ、本を読みたいという気持ちを失わずにいるのは、あの誕生日に100冊の本と引き合わせてくれた母のおかげだと思っています。

さて、10月27日(日)から11月9日(土)までの2週間は「読書週間」です。これは公益社団法人「読書推進運動協議会」が主催するもので、73回を数える読書週間の今回の標語は「おかえり、葉の場所で待ってるよ」だそうです。第1回の「読書週間」が開催されたのは、終戦間もない1947(昭和22)年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っている中で「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から始まったのだそうです。そのときの反響は素晴らしいもので、翌年の第2回から現行の文化の日を中心にした2週間と定められ、この運動は全国に広がっていきました。(公益財団法人 読書推進運動協議会HPより引用)

一方、令和元年度の全国学力・学習状況調査【中学3年生対象4/18実施】の生徒質問紙の中に読書に関する気になる結果がありました。「読書は好きですか」という問いに、「好き」と「どちらかというところが好き」と答えた生徒は、全国で78.1%いるにも関わらず、普段読書をするのは30分未満であると回答したのが72.9%、全く読書をしていない生徒はその中の34.7%にもなるということです。「読書は好きだけれど、できない」というねじれた状況が垣間見えます。忙しい現代の中学生は他にやらなければならないことがたくさんあるのかもしれませんが、一日の生活を振り返り、無駄なものを削って、心穏やかに本を読むための1時間を捻出するのはそんなに難しいことではないような気がします。

本校では毎朝10分間の朝読書の時間を設定しており、生徒は教員とともに読書を楽しんでいます。また、3年生が国語の宿題で自分のお気に入りの本を紹介するPOPを作成し、図書委員会がレイアウトを工夫して掲示し、生徒の興味を喚起しています。読書週間をよい機会として、ご家庭でもお家の方の本との出会いや、おすすめの本についての対話を通して、子供たちが本と出会い、自ら読みたいと思うきっかけをつくっていただけたら幸いです。

「書物そのものは、君に幸福をもたらすわけではない。ただ書物は、君が君自身の中へ帰るのを助けてくれる。」ヘルマン・ヘッセ

第1学年 学習発表会

初めての学習発表会

第1学年

1年生は、初めての学習発表会。母島移動教室で調べたことをパワーポイントにまとめました。緊張しながら、1人約1分半～2分のプレゼンテーションをしました。

当初より発表は原稿を見ないで、暗記をして行うという難易度の高いことに挑戦しました。会場にいる人にわかりやすく、伝わりやすくするために、練習やリハーサルではつまづきながら、修正しながら、何度も原稿を読み返し、一生懸命取り組みました。そして、本番では堂々と立派に発表することができました。みんな苦労した分、達成感が大きかったです。

6月の母島移動教室から9月の発表会までのこれまでの学習を通して、生徒一人一人は学習面だけでなく、集団生活の大切さを実感できた、そんな学習になったように思います。



第3学年 学習発表会

「瞬感 I do」 後輩へ残すもの

第3学年

3年目となった学習発表会は、修学旅行を終えてすぐに準備がスタートしました。12日間の多くの経験や感動から、後輩へ残したいものを絞りながら、各グループで準備を進めていきました。

発表からは、自分たち3年生が感じたことを、来年、そして再来年と後輩にも感じてほしいという気持ちが伝わってきました。その土地の基本的な情報だけでなく、見てほしい景色がある、体験してほしいことがある、知ってほしい人の温かさがある。そして、実際に反省したことがあるなど、「楽しかった」だけではなく、次へつなげてほしい思いがありました。それは、各グループの発表、実行委員長の言葉、クラスの仲間の作曲したピアノの演奏からも伝わったのではないのでしょうか。

「最後」という言葉がつく行事がこれから続きます。卒業まであと半年間の中学校生活中で、多くのことを残していく3年生であってほしいと思います。



生徒会活動 海洋センターボランティア

生徒会担当

今年度も8月31日に海洋センターにてボランティア活動を行いました。例年と同じように、卵の移植、水槽掃除、草刈り、ビーチクリーンと4班に分かれて活動をしました。天候に恵まれて晴天の中、汗をかきながらそれぞれの分担での役割を一生懸命に果たすことができました。

水槽掃除では、センター奥の大きな水槽の掃除と、アカウミガメの甲羅を磨きました。コケで緑色だった甲羅から、本来のきれいな甲羅が見えるまでになり、きれいになった水槽と、きれいになった体で気持ちよさそうにしていました。

ビーチクリーンでは、製氷海岸を歩きながらプラスチックゴミや金属ゴミ等を拾い集めました。日陰がないため、どの班よりも汗をかいていましたが、小さなゴミを見つけたり、大きいゴミをカ一杯持ち上げて運んだり暑さに負けずに取り組みました。

午前中の短い時間ではありましたが、地域の一員として活躍した素晴らしい時間でした。



第1学年 総合的な学習の時間 東平外来種駆除活動

第1学年

本校では、毎年1年生が総合的な学習の一環で東平アカガシラカラスバトサンクチュアリ内の外来種駆除活動を行っており、今年も9月12日（木）に実施しました。

前日の11日（水）には、その事前学習として、林野庁関東森林管理局計画保全部小笠原諸島森林生態系保全センター専門官の方を講師に迎え、講義を受けました。外来植物による影響や駆除の方法、外来植物の利用などの講義を聞いた後、夏休みの宿題として取り組んだ外来植物についてのレポートを自然ガイドになったつもりで発表しました。

そして当日。同行した小笠原自然観察指導員からサンクチュアリの概要や種子除去装置、カウンターシステムなどの話を聞いた後、小笠原諸島特有の植物や生物についての解説を聞きながら作業場所まで移動しました。そして、アカギやキバンジロウ、ホナガソウなどの外来植物を伐採したり、抜き取ったりして駆除しました。

世界自然遺産という貴重な環境に暮らしながら、小笠原諸島の自然や生態系については知らないことも多いというのが現在の中学生の現状です。せっかくこのような環境で育っているのですから、これを機に小笠原諸島の自然環境に関心を持ち、郷土への誇りをいっそう強く持ってほしいと考えています。



生徒会役員選挙

生徒会担当

9月25日（水）に、新しい生徒会役員を決める選挙を行いました。この日のために選挙管理委員の生徒はいろいろ準備をしてきました。今回の選挙には会長に2年生1名、副会長に2年1名、書記に1年2名が立候補し、見事当選しました。選挙演説では、立候補した4名は生徒会役員への意気込みや決意、応援者となった生徒は立候補者の良いところを堂々とした立派な態度で他の生徒に話していました。聞いていた生徒も真面目にきちんと聞いていて、非常に良い雰囲気でした。10月からこの新たな4名で学校全体をより良くするために、活動をしていきます。仕事は大変ですが、やりがいのあるものですので、4人が頑張ってくれることを期待しています。



おがさわら丸に「顔はめパネル」の展示が始まりました

美術科担当

1学期の父母学習交流会で制作した「顔はめパネル」の展示が9月17日（火）からはじまりました。パネル2作品を4デッキの案内所の向かい側に展示してあります。

作品は、2航海ずつ入れ替えて展示していく予定です。12月下旬まで展示します。また今後、ビジターセンターやBシップでも展示予定です。

生徒のみなさんの作品が、島民の方々や観光で訪れるの方々にご覧いただけることは、とても誇らしく、嬉しいことです。

校長先生、副校長先生もばっちりハマっています！



PTAブイ・フロート清掃

小笠原小・中学校の児童・生徒、保護者・地域の方々、教職員が共に汗を流し、ブイ・フロートの清掃を行いました。

ブイ・フロートの清掃前の当日の朝には、今年最後の青灯台での遊泳を名残惜しみながら楽しむ小学6年生の姿がありました。

今年度も青灯台付近での遊泳のために、ご尽力いただきました関係機関のみなさまに厚く御礼申し上げます。



小中高連合運動会

今年度の小中高連合運動会は、10月6日（日）午前8時45分（開会式）～午後3時35分（終了）の予定です。前日の10月5日（土）は、運動会準備も含め、授業日となります。延期の場合は、午前7時前には学校から、午前8時頃には防災無線でもお知らせいたします。（延期の場合は、10月14日（月）または15日（火）に実施の予定）

テントや敷物等の設営は、当日午前6時からです。ご協力をお願いいたします。



写真は9月30日の予行練習

10月の主な予定

- 1日（火）都民の日 学校朝礼
- 2日（水）振替休業日
- 3日（木）SNS講習会 SC勤務日
- 4日（金）英語検定（一次）
- 5日（土）連合運動会準備（5・6校時）
- 6日（日）小中高連合運動会
- 7日（月）振替休業日
- 8日（火）振替休業日
- 9日（水）学校朝礼 自転車点検
- 10日（木）SC勤務日
- 11日（金）部活動中止
- 12日（土）定期考査事前の学習教室開放
- 14日（月）体育の日 連合運動会予備日
- 15日（火）生徒会朝礼 連合運動会予備日
避難訓練

- 16日（水）食育講話 芝生の日 保護者会
- 18日（金）中間考査（国・数・英・社・理）
全校吹奏楽
- 20日（日）漢字検定
- 21日（月）学校朝礼
- 22日（火）即位礼正殿の儀が行われる日
- 24日（木）生徒会総会リハーサル SC勤務日
- 25日（金）お弁当の日
- 28日（月）生徒会朝礼 第2回進路説明会
- 31日（木）SC勤務日

※12月7日（土）に予定しておりました学習発表会（音楽）は、父母交流スポーツ大会の開催が同日となったため、翌日の12月8日（日）に変更いたします。詳細は後日改めてご案内いたします。